

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190100547		
法人名	大和リビングケア株式会社		
事業所名	グループホームディーフェスタ東与賀		
所在地	佐賀市東与賀町大字飯盛224-2		
自己評価作成日	令和7年7月7日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市天神一丁目4番15号		
訪問調査日	令和7年10月15日	外部評価確定日	令和7年12月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>・今年度から全事業所にて利用者満足度の向上を図りレクリエーションの充実、毎月のイベント内容や外出イベントなどを増やしています。また、人権研修を年に2回行い利用者様や同じ職場で働く職員とのコミュニケーションを向上させています。生産性委員会を設置し業務の無駄・無理がないか話し合い、省いた時間を利用者様との関わりを増やす時間としています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>住宅街の一角に立地しており、隣にはデイサービスと近隣に介護付き有料老人ホームもあり多機能な介護施設を運営されている。年間の研修計画が立案されており、職員がオンラインで研修を受講し質の向上に努められている。利用者の状態を把握し、何が課題なのかを細かく分析することで残存機能の維持と自立支援を目指され対応され、健康面に関しても協力医療機関と連携を図られている。社内に看護師が常駐されていることで、急変時にも対応が可能となっており、安心できる環境を構築されている事業所である。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	『私たちは「いくつになっても自分らしく生活できる」をサポートします』を理念とし日々、利用者様の自立支援に向けて情報を共有しケアの統一を図っています。	『私たちは「いくつになっても自分らしく生活できる」をサポートします』を理念とし日々、利用者様の自立支援に向けて情報を共有しケアの統一を図っています。	令和元年に経営する会社が変わることで理念も変更され、毎月のミーティングで浸透を図られている。施設長と管理者が事前に話し合い、職員と半年に1度の面談で理念に即したケアが提供されているか確認と指導をされている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の回覧板を回してもらい地域の情報を把握するよう努めています。また回覧板を持っていく際は利用者様と一緒に持って行くようにしています。3か月に1回、東与賀支所で開催されている『よってみゆ〜かふえ』にも参加し地域の方達との交流を図っています。	町内の回覧板を回してもらい地域の情報を把握するよう努めています。また回覧板を持っていく際は利用者様と一緒に持って行くようにしています。3か月に1回、東与賀支所で開催されている『よってみゆ〜かふえ』にも参加し地域の方達との交流を図っています。	地域包括支援センターと一緒にになり、認知症カフェを開催している。また、認知症カフェには利用者も一緒に参加し、地域の方の交流の場となっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区の自治会長・民生委員・家族様・見学・相談者様に認知症の理解をしていただくために疾患や症状などの情報を提供し理解を深めていただくよう努めています。	地区の自治会長・民生委員・家族様・見学・相談者様に認知症の理解をしていただくために疾患や症状などの情報を提供し理解を深めていただくよう努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回開催。施設からお知らせを伝えたりその場で直接、ご家族様の貴重な意見を聞くことができます。また施設運営や利用者様へのサービスについても活かせるお話などを聞かせていただいています。	運営推進会議は2か月に1回開催。施設からお知らせを伝えたりその場で直接、ご家族様の貴重な意見を聞くことができます。また施設運営や利用者様へのサービスについても活かせるお話などを聞かせていただいています。	地域包括支援センターや地域の方、そして多くの家族が参加して開催され、事業所の運営状況等を報告されている。参加できない家族に対しては、議事録を送付され情報の周知が図られている。	

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターの担当者の方には毎回運営推進会議に出席していただき、意見や評価を受けている。入居状況や毎月の行事報告をし、入居の紹介を受けたりしている。	地域包括支援センターの担当者の方には毎回運営推進会議に出席していただき、意見や評価を受けている。入居状況や毎月の行事報告をし、入居の紹介を受けたりしている。	毎月入居状況を報告し、空床がある場合には地域包括支援センターから相談があり、運営に活かされている。入居者の9割が、佐賀市内の方となっており地域に根ざした施設運営をされている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部での高齢者虐待・身体拘束防止研修会に参加したり、施設内では入社時及び年2回の研修会を実施し、拘束しないケアに取り組んでいる。入居者の方が自由に施設内を移動できるようにしており、施錠しないケアに努めている。	外部での高齢者虐待・身体拘束防止研修会に参加したり、施設内では入社時及び年2回の研修会を実施し、拘束しないケアに取り組んでいる。入居者の方が自由に施設内を移動できるようにしており、施錠しないケアに努めている。	社内のリモート研修に管理者が参加し、その際の動画を職員が確認され、レポートを提出されている。事例検討もされており、現場に即した研修内容となっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部での高齢者虐待・身体拘束防止研修会に参加したり、入社時及び年2回の研修会を実施し、拘束しないケアに取り組んでいる。入居者の方が自由に施設内を移動できるようにしており施錠しないケアに努めている。また拘束しないケアについて施設内に掲示し職員が常に意識できるよう働きかけている。	外部での高齢者虐待・身体拘束防止研修会に参加したり、入社時及び年2回の研修会を実施し、拘束しないケアに取り組んでいる。入居者の方が自由に施設内を移動できるようにしており施錠しないケアに努めている。また拘束しないケアについて施設内に掲示し職員が常に意識できるよう働きかけている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	高齢者虐待防止とともに権利擁護に関する研修会を年2回受講している。	高齢者虐待防止とともに権利擁護に関する研修会を年2回受講している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際に文面や文言などで分からない言葉は丁寧に説明し理解していただくよう取り組んでいる。	契約の際に文面や文言などで分からない言葉は丁寧に説明し理解していただくよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の方々の声はいつでも傾聴し運営やケア、ケアプランに反映している。またご家族様の意見・要望は面会時に聞いたり、ケアプランの説明時にも必ず伺うようにし、運営やケアの改善に努めている。	入居者の方々の声はいつでも傾聴し運営やケア、ケアプランに反映している。またご家族様の意見・要望は面会時に聞いたり、ケアプランの説明時にも必ず伺うようにし、運営やケアの改善に努めている。	意見箱を設置されているが 投函された実績はなく、面会時などに管理者が中心となり、要望を確認されている。その関係性を築くために、日頃から利用者の状況を家族に報告し信頼関係を構築されている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に施設長やサステナビリティ推進部の職員による職員との1対1の面談を行っている。また月1回のミーティングの際にも今行っている業務の無駄などがないか意見交換の場を設け生産性向上委員会を立ち上げ、業務フローに落とし込みを行っている。	定期的に施設長やサステナビリティ推進部の職員による職員との1対1の面談を行っている。また月1回のミーティングの際にも今行っている業務の無駄などがないか意見交換の場を設け生産性向上委員会を立ち上げ、業務フローに落とし込みを行っている。	職員からの意見で浴室にリフトやスポットクーラーを導入された実績がある。また、生産性を上げるためにケアにかかる時間を把握し、所要時間の統一をすることで利用者に関わる時間の確保につながった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の貢献度、勤務状況などに関する自己評価・上司評価・また上司との面接を随時実施し、評価に応じ賞与・昇給などに反映している。パート職員に対しても上司評価を実施し昇給に反映している。また勤務や希望休などに対応できるように努めている。	職員個々の貢献度、勤務状況などに関する自己評価・上司評価・また上司との面接を随時実施し、評価に応じ賞与・昇給などに反映している。パート職員に対しても上司評価を実施し昇給に反映している。また勤務や希望休などに対応できるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部の研修会だけでなく、キャリアパス基準に参加してもらっている。	内部の研修会だけでなく、キャリアパス基準に参加してもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	以前までは他のグループホームとの勉強会を実施し年1回の交流研修として1日、他のグループホームで勤務し情報交換の場を作っていたが現在行っていない。	以前までは他のグループホームとの勉強会を実施し年1回の交流研修として1日、他のグループホームで勤務し情報交換の場を作っていたが現在行っていない。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご本人に必ず面会させていただきご本人の気持ちを受容し共感しながら困っていることや不安なこと、要望などを聞き日課など継続できることは続けていけるように努めている。	入居前にご本人に必ず面会させていただきご本人の気持ちを受容し共感しながら困っていることや不安なこと、要望などを聞き日課など継続できることは続けていけるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人・家族の要望を聞き本人の状況を把握し、必要なサービスについて家族と話し合い合意を得ている。	本人・家族の要望を聞き本人の状況を把握し、必要なサービスについて家族と話し合い合意を得ている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、またご家族様のご意見を聞き取りそれから本人に一番に合ったサービスを選定し他部署とも連携し情報共有に努めている。	本人、またご家族様のご意見を聞き取りそれから本人に一番に合ったサービスを選定し他部署とも連携し情報共有に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の得意なこと、出来ることや希望を把握し他利用者との関係づくりに努め、自発性を引き出してもらえよう協力の声掛けを行っている。各自が役割をもって意欲的に共同生活が過ごせるように取り組んでいる。手伝っていただいたことには感謝の言葉を伝え共同の関係づくりをしている。	本人の得意なこと、出来ることや希望を把握し他利用者との関係づくりに努め、自発性を引き出してもらえよう協力の声掛けを行っている。各自が役割をもって意欲的に共同生活が過ごせるように取り組んでいる。手伝っていただいたことには感謝の言葉を伝え共同の関係づくりをしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の際にも担当職員より生活歴や入居前では聞き取りが出来なかった部分を聞き取りし、利用者様だけでなくその家族様とも交流を深めるよう接している。	面会の際にも担当職員より生活歴や入居前では聞き取りが出来なかった部分を聞き取りし、利用者様だけでなくその家族様とも交流を深めるよう接している。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人に今会いたい人はいないか、またご家族様の面会の際にはその利用者様と関係があった方などのお話を聞き面会などに繋がるようお話しする。	ご本人に今会いたい人はいないか、またご家族様の面会の際にはその利用者様と関係があった方などのお話を聞き面会などに繋がるようお話しする。	日中の面会は、近所の方でも自由に可能であるが、20時以降の面会はできない。利用者は、携帯電話やスマホを持ち込むこともでき、関係性の継続が可能となっている。外出に関しては、家族対応であれば美容室など自由に外出することが可能である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係を十分に理解し本人が好まれる場所、落ち着く場所にて過ごしていただいている。またレクリエーション前など職員含めて利用者様へ簡単な自己紹介を行ってもらい名前を呼んでもらっている。	利用者様同士の関係を十分に理解し本人が好まれる場所、落ち着く場所にて過ごしていただいている。またレクリエーション前など職員含めて利用者様へ簡単な自己紹介を行ってもらい名前を呼んでもらっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療連携病院へ入院されれば経過を把握する連絡を行う。ご逝去されたケースではお悔みやお通夜へ参列させていただき感謝の言葉を伝えたりご家族様へ電話連絡をしたりもしている。	医療連携病院へ入院されれば経過を把握する連絡を行う。ご逝去されたケースではお悔みやお通夜へ参列させていただき感謝の言葉を伝えたりご家族様へ電話連絡をしたりもしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族様からの情報やご本人と話をしして少しでも希望・要望が把握できる工夫をしている。意思表示のできる方、できない方、各自の希望や思いを受け止められるように話し合いの場を共有し本人本意の実現に向け努めている。	ご家族様からの情報やご本人と話をしして少しでも希望・要望が把握できる工夫をしている。意思表示のできる方、できない方、各自の希望や思いを受け止められるように話し合いの場を共有し本人本意の実現に向け努めている。	日頃からコミュニケーションを図り、利用者の要望を確認しており、コミュニケーションが難しい方に関しては表情や行動から分析を行っている。家族には、介護計画の変更時だけでなく、面会時から要望を確認しケアに活かすように心掛けている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴や一日の過ごし方、生活環境や趣味などを教えていただき、ご本人の意向に沿うことができるように努めている。全職員が情報を共有しご本人主体の生活ができるよう支援している。	入居前に生活歴や一日の過ごし方、生活環境や趣味などを教えていただき、ご本人の意向に沿うことができるように努めている。全職員が情報を共有しご本人主体の生活ができるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で出来ること出来ないことを見極め出来ることはしていただき、さらに本人の能力や可能性を見つけ、出来るようになるように職員で情報を共有し支援に努めている。	日々の関わりの中で出来ること出来ないことを見極め出来ることはしていただき、さらに本人の能力や可能性を見つけ、出来るようになるように職員で情報を共有し支援に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居前の方の身体的、精神的状況の把握、家族の希望・要望を聞き課題分析をし本人・家族の意向が反映されるようにチームで話し合いながらケアプランを作成している。モニタリングを行い次の計画に活かしている。入院や状態の変化に応じその都度ケアプランを見直し本人・ご家族様の同意をいただいている。	入居前の方の身体的、精神的状況の把握、家族の希望・要望を聞き課題分析をし本人・家族の意向が反映されるようにチームで話し合いながらケアプランを作成している。モニタリングを行い次の計画に活かしている。入院や状態の変化に応じその都度ケアプランを見直し本人・ご家族様の同意をいただいている。	6ヶ月に1回 介護計画を作成され、介護支援専門員と介護士が共同し以前の介護計画の実施ができていのかを確認され、新たな課題などを分析を行い新たな介護計画に反映されている。	

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各自のバイタル・食事・水分量・排泄・運動レクリエーションなどの状態変化を日々の様子を毎日アイパッドに入力し変化や気づきを職員間で共有出来るようにしている。改善すべき点や本人の状況に応じケアプランの見直しをしている。	各自のバイタル・食事・水分量・排泄・運動レクリエーションなどの状態変化を日々の様子を毎日アイパッドに入力し変化や気づきを職員間で共有出来るようにしている。改善すべき点や本人の状況に応じケアプランの見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の生活の中で利用者様のニーズに合わせて柔軟に対応できるようにしている。	日々の生活の中で利用者様のニーズに合わせて柔軟に対応できるようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源について知識不足で利用者様や施設内でのサービスに取り込めていない状況です。	地域資源について知識不足で利用者様や施設内でのサービスに取り込めていない状況です。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族との話し合いを行い、本人にとって適切な医療が受けられるように支援している。かかりつけ医の定期的な訪問診療を受けたり、緊急時や体調の変化に応じその都度受診や相談・助言を受けている。本人の状態に応じ、専門医等の受診・訪問診療を家族と相談しながら行っている。	家族との話し合いを行い、本人にとって適切な医療が受けられるように支援している。かかりつけ医の定期的な訪問診療を受けたり、緊急時や体調の変化に応じその都度受診や相談・助言を受けている。本人の状態に応じ、専門医等の受診・訪問診療を家族と相談しながら行っている。	以前からのかかりつけの継続も可能であるが、多くの家族が協力医療機関に変更されている。協力医療機関は、2カ所あり、家族が選択できる仕組みとなっている。受診が必要な場合は家族での対応が基本となっているが、事業所が情報をまとめ医療機関に提供できるように支援されている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化に対し、医療連携看護師へ報告・指示をあおいだり直接対応してもらっている。症状に応じかかりつけ医への相談・調整などしてもらっている。医療連携看護師による健康チェックを毎週1回行っている。	体調の変化に対し、医療連携看護師へ報告・指示をあおいだり直接対応してもらっている。症状に応じかかりつけ医への相談・調整などもらっている。医療連携看護師による健康チェックを毎週1回行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された場合はただちに退去時提供情報書を提供し連絡を取り合い医療行為の必要性がないと診断されればグループホームへの退院へと病院の地域連携室と情報のやりとりを行っている。	入院された場合はただちに退去時提供情報書を提供し連絡を取り合い医療行為の必要性がないと診断されればグループホームへの退院へと病院の地域連携室と情報のやりとりを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にターミナルケアの指針についても文書を用いてご家族様に説明している。また入居者の方が重度化され医師による看取りの診断があれば医療連携看護師、医師、ご家族様との話し合いの場を設け移行や希望を確認しチームで支援するように取り組んでいる。	入居時にターミナルケアの指針についても文書を用いてご家族様に説明している。また入居者の方が重度化され医師による看取りの診断があれば医療連携看護師、医師、ご家族様との話し合いの場を設け移行や希望を確認しチームで支援するように取り組んでいる。	終末期を迎えた場合には、家族、主治医、事業所が話し合いを行い、今後の方針を決めていくことが可能となっている。昨年度にも看取りの実績があり、職員は看取りの研修やミーティングを行い質の向上を目指されている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDの取扱いについて必ず全職員受講を行っている。また急変時や事故発生時などの連絡体制を掲示し勉強会も実施している。	AEDの取扱いについて必ず全職員受講を行っている。また急変時や事故発生時などの連絡体制を掲示し勉強会も実施している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回夜間を想定した避難訓練を実施し通報訓練、消火訓練、緊急連絡先の確認を行い、自治会長や家族の方にも参加を呼びかけ評価や提案、指導を受け改善に取り組んでいる。また義務化されたBCP(事業継続計画)についても訓練及び勉強会、随時新しく更新している。	年2回夜間を想定した避難訓練を実施し通報訓練、消火訓練、緊急連絡先の確認を行い、自治会長や家族の方にも参加を呼びかけ評価や提案、指導を受け改善に取り組んでいる。また義務化されたBCP(事業継続計画)についても訓練及び勉強会、随時新しく更新している。	火災訓練の際には、消防署や消防団の派遣もあり意見交換を行い災害時に対する取り組みを進められている。感染症やその他の災害に対しても訓練や研修を行い、そこで見つけた課題に対して改善に取り組まれている。	

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重やプライバシー保護やハラスメント研修を行っており入居者の一人ひとりにあった対応に心がけて人格を損なわないようケアを行っている。	人格の尊重やプライバシー保護やハラスメント研修を行っており入居者の一人ひとりにあった対応に心がけて人格を損なわないようケアを行っている。	社内ではハラスメントや権利擁護に対する研修が行われている。現場で不適切な対応を確認した場合には、管理者や施設長が職員の指導にあたられている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の各場面において、本人が選択できるよう言葉がけに努めており、衣類を選んでもらったり、歌やレクリエーションの内容を決めてもらったりと自由に選択してもらっている。	日常生活の各場面において、本人が選択できるよう言葉がけに努めており、衣類を選んでもらったり、歌やレクリエーションの内容を決めてもらったりと自由に選択してもらっている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本の一日の流れはあるものの、ホールや自室、またソファーで休息など、個々の希望に沿った生活の支援をしている。	基本の一日の流れはあるものの、ホールや自室、またソファーで休息など、個々の希望に沿った生活の支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に一度、美容室の方からの訪問理容を受けている。本人の希望をお聞きしそれに合った髪型、また洋服選びや髭剃り、爪切りなどの支援を行っている。	2か月に一度、美容室の方からの訪問理容を受けている。本人の希望をお聞きしそれに合った髪型、また洋服選びや髭剃り、爪切りなどの支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の時間は極力、全員でテーブルを囲んで召し上がっていただいている。家族のような雰囲気作りをして楽しんで食事が出来ている。	食事の時間は極力、全員でテーブルを囲んで召し上がっていただいている。家族のような雰囲気作りをして楽しんで食事が出来ている。	チルド食を導入し、常食、刻み食、ミキサー食を提供されている。利用者に食事を楽しんでいただけるように、季節感を感じていただける業者に変更された。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分量と摂取量を把握できるように記録している。粥食やミキサー食・キザミ食など個々に応じた食事を用意している。出来るだけ自分の手で食べていただくよう配膳を工夫し必要量の確保は出来るよう支援している。	一日の水分量と摂取量を把握できるように記録している。粥食やミキサー食・キザミ食など個々に応じた食事を用意している。出来るだけ自分の手で食べていただくよう配膳を工夫し必要量の確保は出来るよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛け、洗面所で自身で行える方から口濯ぎもできない方、様々なのでその方に合った口腔ケアの方法を歯科の訪問診療時に確認しケアを行っている。	毎食後、口腔ケアの声掛け、洗面所で自身で行える方から口濯ぎもできない方、様々なのでその方に合った口腔ケアの方法を歯科の訪問診療時に確認しケアを行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自ら尿意便意ある方は自身にお任せし排泄など間隔が空いている方へは排泄後の確認をさせていただく旨をお伝える。また全介助の方については定時のパット交換や夜間帯の交換も尿量などを考慮し、その方に合ったパットを選定し入眠の妨げにならないよう回数を減らしている。尿路感染にならないよう1日2回、また便汚染時など必ず洗浄をさせていただいている。	自ら尿意便意ある方は自身にお任せし排泄など間隔が空いている方へは排泄後の確認をさせていただく旨をお伝える。また全介助の方については定時のパット交換や夜間帯の交換も尿量などを考慮し、その方に合ったパットを選定し入眠の妨げにならないよう回数を減らしている。尿路感染にならないよう1日2回、また便汚染時など必ず洗浄をさせていただいている。	利用者の9割の方がトイレを利用し自立支援に向けた取り組みが行われている。排泄チェック表を活用するだけではなく、トイレが認知できているのか、動作の何が問題なのか細かく分析しアプローチをすることで、自立につながった事例もある。	

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便に関しては医療機関との情報を共有し下剤などでの排便コントロールを行っている。また夏場など特に飲水の声掛けを随時行い飲水量の確保をしている。午前中は必ずラジオ体操、午後は体を動かす運動なども取り入れている。	排便に関しては医療機関との情報を共有し下剤などでの排便コントロールを行っている。また夏場など特に飲水の声掛けを随時行い飲水量の確保をしている。午前中は必ずラジオ体操、午後は体を動かす運動なども取り入れている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者様の聞き取りから入浴剤を使用している。冬場は特に高評価で浴後も体が温まっているとの意見を聞かせていただいています。時間帯については午前中のみになっており利用者様本意の時間帯に入浴が行えていないかもしれません。	入居者様の聞き取りから入浴剤を使用している。冬場は特に高評価で浴後も体が温まっているとの意見を聞かせていただいています。時間帯については午前中のみになっており利用者様本意の時間帯に入浴が行えていないかもしれません。	基本的には週に2回の入浴で曜日が固定され午前中の対応となるが、希望に応じて変更する事もできる。リフトを導入された事で浴槽を跨げない方でもお湯に浸かることができるようになっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間帯、パット交換させていただく方には尿量を計測しパットを選定。入眠後のパット交換は寝る前の20時、入眠後は1時の1回のみ。その後は起床の際に行い入眠の妨げにならないよう支援させていただいている。また歩行が不安定な方へはポータブルトイレを活用し転倒リスクを避け、睡眠時間の確保に努めている。	夜間帯、パット交換させていただく方には尿量を計測しパットを選定。入眠後のパット交換は寝る前の20時、入眠後は1時の1回のみ。その後は起床の際に行い入眠の妨げにならないよう支援させていただいている。また歩行が不安定な方へはポータブルトイレを活用し転倒リスクを避け、睡眠時間の確保に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	拒薬のある方についてはその薬の効能、副作用など伝えている。また目薬についても緑内障の進行を遅らせる目薬などについては点眼するタイミングなど記載した用紙を張り出している。また居宅療養管理指導の際に薬についての指導を受けている。服薬介助をする際には薬箱から取り出す時、職員とのWチェック・服薬するタイミングの3回、日付・タイミング・利用者名を声にだして誤薬事故が起こらないようにしている。	拒薬のある方についてはその薬の効能、副作用など伝えている。また目薬についても緑内障の進行を遅らせる目薬などについては点眼するタイミングなど記載した用紙を張り出している。また居宅療養管理指導の際に薬についての指導を受けている。服薬介助をする際には薬箱から取り出す時、職員とのWチェック・服薬するタイミングの3回、日付・タイミング・利用者名を声にだして誤薬事故が起こらないようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時に生活歴や興味のあることの情報収集し生活の中から役割や楽しみを見つけることが出来るように支援し張り合いのある生活が出来るように取り組んでいる。また面会時にもご家族様から新しい情報など教えていただく機会もあり、その都度職員と情報共有しケアプランに反映できるものがあれば行っている。	入居時に生活歴や興味のあることの情報収集し生活の中から役割や楽しみを見つけることが出来るように支援し張り合いのある生活が出来るように取り組んでいる。また面会時にもご家族様から新しい情報など教えていただく機会もあり、その都度職員と情報共有しケアプランに反映できるものがあれば行っている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	戸外に行きたいとの希望がある時はなるべく意向に沿うように支援している。本館へ見学に行ったり桜が咲くころにはよくお花見をしています。またご家族様が外出や外食をご希望される際にも応じさせていただき利用者様の気分転換に繋がるよう支援させていただいている。	戸外に行きたいとの希望がある時はなるべく意向に沿うように支援している。本館へ見学に行ったり桜が咲くころにはよくお花見をしています。またご家族様が外出や外食をご希望される際にも応じさせていただき利用者様の気分転換に繋がるよう支援させていただいている。	気候に応じてバスハイクを実施され、日常では近所に散歩へ行かれている。屋外歩行に不安がある方は、車椅子を使用し対応されている。今後は感染症の状況に応じて外出の頻度を調整される。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居時にご家族様、ご本人にお聞きしている。当施設では原則として金銭の所持は行っていないが利用者様の希望がある際には小銭程度を渡している。	入居時にご家族様、ご本人にお聞きしている。当施設では原則として金銭の所持は行っていないが利用者様の希望がある際には小銭程度を渡している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人へ年賀状など出されるか確認し、出される場合は宛名などご家族様に協力していただき発送してもらっている。また本人様が希望された時や電話がかかって来た時はいつでも繋げる体制を取っている。	ご本人へ年賀状など出されるか確認し、出される場合は宛名などご家族様に協力していただき発送してもらっている。また本人様が希望された時や電話がかかって来た時はいつでも繋げる体制を取っている。		

自己	外部	項目	自己評価 (やま棟)・ユニットA	自己評価 (かわ棟)・ユニットB	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下、ホール、台所、トイレは動きやすい導線になっており障害にならないようテーブルを配置している。明るさ、温度、臭気、清掃などの環境も整備しており季節感を感じることが出来るよう貼り絵や飾り物を取り入れ工夫している。	玄関、廊下、ホール、台所、トイレは動きやすい導線になっており障害にならないようテーブルを配置している。明るさ、温度、臭気、清掃などの環境も整備しており季節感を感じることが出来るよう貼り絵や飾り物を取り入れ工夫している。	ユニットに入るとリビングとダイニングが広がり、廊下には利用者の作品や写真などが掲示されている。リビングでは、テレビを見られたり職員や利用者同士で会話を楽しまれ過ごされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にはテーブルとソファを2か所設置しており、入居者の方が好きな場所を選んで過ごせるように配慮している。	共有空間にはテーブルとソファを2か所設置しており、入居者の方が好きな場所を選んで過ごせるように配慮している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様に入居前に可能な限り使い慣れた物や馴染みの物など持って来ていただくよう声掛けており、写真やお気に入りの品、思い出の品など安心出来る居室作りに努めている。	ご家族様に入居前に可能な限り使い慣れた物や馴染みの物など持って来ていただくよう声掛けており、写真やお気に入りの品、思い出の品など安心出来る居室作りに努めている。	ベッド、エアコン、タンス、クローゼットが配置されており、自由に持ち込むことができるようになっている。居室は広いために仏壇やテレビなど持ち込まれているケースもある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内はバリアフリーで各所に手すりも設置されている。自室やトイレは分かりやすく表示している。ホールにはカレンダーや時計を見やすい位置に設置し可能な限り自立した生活ができるように工夫している。	施設内はバリアフリーで各所に手すりも設置されている。自室やトイレは分かりやすく表示している。ホールにはカレンダーや時計を見やすい位置に設置し可能な限り自立した生活ができるように工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
 ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)			1. ほぼ全ての利用者の
		○	○	2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○		1. ほぼ全ての利用者が
			○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○		1. ほぼ全ての利用者が
			○	2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)			1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
		○	○	3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)			1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
		○	○	3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない